

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

幸田町まち・ひと・しごと創生推進計画（第3期総合戦略）

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県額田郡幸田町

### 3 地域再生計画の区域

愛知県額田郡幸田町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は増加傾向にあり、2020（令和2）年の国勢調査では42,449人となっている。しかし、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町でも今後は人口が横ばいから緩やかな減少に向かうと推計され、2060年には39,593人となる。

年齢3区分別人口の推移を見るに、2020年において、年少人口は6,979人（16.4%）、老年人口は9,198人（21.7%）と老年人口が年少人口を上回っている。本町においても、将来は高齢化がさらに進行し、2060年には老年人口12,832人（32.8%）、年少人口5,272人（13.7%）と推計されている。生産年齢人口は2015年以降ほぼ横ばいで推移するものと推計されている。地域活力を維持するために「生産年齢人口（15～64歳）」と「年少人口（0～14歳）」の割合の減少を抑制する。本計画においても上位・関連計画と連携しながら、基本目標に基づく各種施策を展開し、2035（令和17）年時点で以下のような条件が達成できるよう努める。

#### ① 合計特殊出生率の段階的な上昇

- ・本町の2025（令和7）年の合計特出生率は1.67%と推計され、これを国が目標とする希望出生率1.8%に向けて、段階的に引き上げる。

#### ② 20歳～39歳の人口移動率の改善

- ・2025（令和7）年～2030（令和12）年と、2030（令和12）年～2035（令和17）年の期間の20～39歳の人口移動率について、推計よりも5%程度改善する。

目標人口を達成した場合も、高齢化は着実に進み、2040（令和22）年以降人口は

減少し始めると推計されている。そのため、人口減少、少子高齢化社会へ向けた取組を進めていく必要がある。

また、地域活力を向上するために、引き続き、企業誘致による雇用の創出や住宅地開発などを推進し、さらに、関係人口・交流人口の増加を図る必要がある。

- ・基本目標1 町ならではの仕事と人材を育て、安心して働けるようにする
- ・基本目標2 多様な人の流れを育て、町の魅力を高める
- ・基本目標3 子どもを育て、みんなを元気にする
- ・基本目標4 地域の個性を育て、健やかに暮らせるようにする

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	製造品出荷額等	10,620億円	13,620億円	基本目標1
ア	製造品付加価値額	261,641 百万円	300,000 百万円	基本目標1
ア	住民一人当たりの課税対 象所得	3,825,000円	4,207,500円	基本目標1
イ	定住人口	42,072人	42,500人	基本目標2
ウ	年少人口	6,516人	6,100人	基本目標3
ウ	「子育て支援」に満足し ている住民の割合	32.6%	33%	基本目標3
エ	「地域活動の推進」に満 足している住民の割合	23.7%	29%	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

幸田町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 町ならではの仕事と人材を育て、安心して働けるようにする

イ 多様な人の流れを育て、町の魅力を高める

ウ 子どもを育て、みんなを元気にする

エ 地域の個性を育て、健やかに暮らせるようにする

② 事業の内容

ア 町ならではの仕事と人材を育て、安心して働けるようにする

本町の強みである産業の一層の強化を図り、人の流れを育て、子どもを育て、地域を育てる「よい流れ、よい循環」を創出し、地域の持続的な発展とさらなる成長につなげる。多様な分野からなる産業構造への転換によって、成長エンジンである税収を安定させるとともに、地場産業など本町に特徴的な産業の育成を支援する。

また、多種多様な企業が集積している利点を生かしながら、地域産業を支える人材や後継者を確保する。

【具体的な事業】

- ・産業振興と就業機会の創出
- ・地域で活躍する人材の育成 等

イ 多様な人の流れを育て、町の魅力を高める

観光交流や学びの場づくりにより、人の流れを創出し、地域の活性化につなげるとともに、交流人口の拡大から関係人口の拡大へ、そして中長期的には定住人口の確保を目指す。

【具体的な事業】

- ・地域資源（タウンプロモーション）の強化
- ・定住人口・交流人口・関係人口の創出・拡大 等

ウ 子どもを育て、みんなを元気にする

出生から新生児期、乳幼児期、学童期、思春期の各段階を経て、子どもが大人になるまでの一連の成長過程や、その保護者、妊産婦に対し、必要

な支援を切れ目なく提供するなど、子どもを安心して産み育てられる環境を整備し、子育てをサポートします。

また、全ての子どもや保護者が本町で安全・安心に暮らし続けられるよう、ニーズに応じた子育て支援サービスや教育・保育サービスを充実させます。

さらに、子育てに魅力や喜び、楽しみを感じることができるよう、男女がともに子育てと仕事を両立できる環境の整備、子育てを支援する生活環境の整備に努めます。

**【具体的な事業】**

- ・子どもを安心して産み育てられる環境の整備
- ・子どものウェルビーイングの実現 等

**エ 地域の個性を育て、健やかに暮らせるようにする**

地域の「コミュニティの醸成」「自然環境の活用」「安全・安心の実現」「歴史・文化の融合」などの取組を推進することで地域の個性を育て、健やかに暮らせるまちを目指す。

**【具体的な事業】**

- ・地域コミュニティの醸成
- ・環境にやさしいまちづくりの推進 等

※なお、詳細は第3期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

5,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度8月頃に産官学金労言等で構成される「幸田町総合戦略推進委員会」にて効果検証を行い、外部有識者等の意見を取り入れながら事業を実施していく。検証後は本町公式ホームページで公表をする。また、庁内関係部署により構成される「庁内プロジェクト会議」でも効果検証と政策立案を行い、町議会へ進捗状況の報告を行う。

**⑥ 事業実施期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

## **6 計画期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで